

平成 26 年度 由仁町社会福祉協議会事業報告



▲平成26年度の活動(写真上左から)福祉のつどい、ふれあい広場、いきいきサロン、共同募金街頭募金活動、花いっぱい運動、ふまネット運動、ジュニア福祉スクール、福祉学習会(由仁中学校)、研修会への参加(ボランティア愛らんどへの研修参加)

～共に支えあう安心・安全・福祉のまちづくり～

社会福祉法人由仁町社会福祉協議会

〒069-1203

由仁町東栄 87 番地の 1 由仁町文化交流館内

電話 0123-82-2167・0123-83-2340 ファクス 0123-82-2188



平成26年度由仁町社会福祉協議会事業報告

基本方針

共に支えあう安心・安全・福祉のまちづくり

●平成26年度由仁町社協重点テーマを次の4つにさだめ

- 1) 法人運営の強化
- 2) 地域福祉活動の推進
- 3) ボランティアセンター事業の充実
- 4) 介護サービス事業の推進、を図りました。

以上の重点事項に基づく具体的な事業について報告します。

◇◇◇社会福祉協議会広域事業◇◇◇

平成25年度の南空知4町の弁護士による無料法律相談会の連携事業に続き、平成26年度は、南空知4市5町による「災害時相互支援に関する協定」の調印を行い、災害時の協力体制について検討を深めました。平成27年度に具体的な役割を精査することになっておりますが、近隣の市町が協力して安心のまちづくりを進めることを確認しました。南空知9市町の社協会長が足並みをそろえて協力することを誓いました。



1 法人運営の強化

～法人組織・組織の基盤づくりを目指して～

- ・法改正に伴う新社会福祉法人会計への移行による適正管理
- ・福祉だより等活動報告の発行
- ・地域福祉関係団体との連携
- ・福祉関係人材育成支援事業の検討

重点事項	実施内容	具体的な事業
法人組織運営の推進 組織体制基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた法人運営を基本に本会の円滑な運営のため計画の立案及び進捗の管理を行う。また、組織・事業・財務の評価により効果的、効率的な運営を行う。 ・人材の育成と組織力の向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例理事会 6回 4/1, 5/15, 7/23, 10/24, 12/25, 3/24 ・定例評議員会 2回 5/15, 3/27 ・随時の理事協議会 1回 9/3 ・監事会 4回 ・役員の子協学習研修への参加 11/2 ボランティア愛ランド in 札幌への参加。16人 ・9/4 議会懇談会 ・財源確保/会費協力の依頼活動 ・社協職員の資格研修参加 ・12/1 南空知市町社協との防災協力調印式(広域事業) ・12/8 道社協との災害支援協定 ・職員資格取得支援 2人
新法人会計への移行	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人新会計基準に基づき執行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会計事務所契約し適正化を図った。 ・会計システムの運用
福祉だより等活動報告の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会事業の広報による社協活動の理解を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の福祉だよりの発行 ・町回覧板・無線放送での随時周知 ・「ウォッチゆに社協」等の広報活動。 ・自治区長会議に参加して、社協の取り組みを随時啓蒙した。
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・協力団体の理解と連携を推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・9/13, 老人クラブ・障がい者福祉協会・町内会連合会と共催して「福祉のつどい」開催した。 ・12/22 由仁町内の福祉施設管理者等の「福祉施設連絡会」を開催した。
福祉人材の育成支援	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉人材不足の解消を図る観点で予算の範囲内での資格取得費助成を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 10/25-12/14の間、土日曜日に初任者研修会を実施、15人参加(基金の活用及び町助成金)町内福祉人材の育成を図った。

2 地域福祉活動の推進

～住み慣れた地域でいつまでも暮らす環境づくりの推進～

- ・共同募金関係事業の推進(赤い羽根共同募金運動・歳末助け合い運動)
- ・いきいきサロンの充実(町委託事業)
- ・福祉のつどい&ふれあい広場の開催
- ・無料法律相談・心配ごと相談の開催
- ・地域福祉活動の継続推進
- ・(指定管理事業)由仁町健康元気づくり館の運営

重点事項	実施内容	具体的な事業
共同募金委員会への協力	・共同募金運動の普及と推進を図る。自治区長で構成する共同募金委員会事業を社協役員、関係団体で支援した。	8月街頭募金活動(由仁夏まつり 8/3・三川地蔵祭り会場 8/24) 9月ぬりえ展示会 10月赤い羽根共同募金(自治区) 11月法人等募金(商店など) 12月歳末助け合い運動 ・義援金配分推進会議開催 12/22 ・見舞金交付式の開催 12/26
いきいきサロンの充実(町委託事業)	・ボランティア「コスモス会」の協力で高齢社会の外出機会の助長と地域内外での交流活動を通じて、孤独感の解消を図った。	・高齢者生きがい事業の実施。(バス利用) 4回、延べ96人 6/30, 7/22, 9/29, 11/4 ・地域でのふれあい活動を推進する「いきいきサロン」で趣味の文化活動や食事・茶話会、カラオケ会開催。10回、延べ216人。5/22. 27, 6/3, 7/29, 8/19. 26, 11/11. 17, 3/19. 23
福祉のつどいの開催(町委託事業)	・福祉活動の発展を願い、福祉功労者の表彰をはじめ、老人クラブ演芸発表の場として開催した。	9月13日(土) ・社協表彰2人感謝状1贈呈 ・老ク連表彰 1団体20人 10:00～演芸発表14団体
ふれあい広場の開催	・ボランティア、文化サークルが一同に集い、バザー形式での模擬店や福祉施設からの出店等	9月13日(土) 11:30～開会 14:00 お楽しみ抽選会 協賛31社(出店12団体)
無料法律相談の開催 心配ごと相談 (電話 83-2340)	・札幌弁護士会の協力のもと、南空知4町社協が協力して、毎週金曜日無料法律相談会を開催した。	・第2金曜日/由仁町げんき館 午後1時から午後4時 受付22件

重点事項	実施内容	具体的な事業
地域福祉事業	<p>・会費、寄付金をはじめ町委託金、共同募金及び歳末助け合い募金の助成を受けて、地域福祉活動を推進しました。</p> <p>(赤い羽根助成金は、「自分のまちを良くするしくみ」をスローガンに北海道共同募金会が助成金を交付しその助成を受けて事業財源としています。当該市町村の募金総額の約7割程度が次年度地域福祉活動事業助成金として市町村に配分され、由仁町社協では、この財源と寄付金で福祉活動を展開しています。)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉杖への助成 23 件 ・緊急情報キット「命のバトン」配布新規 8 件、内容更新啓蒙の実施 ・移動支援事業の受託 (毎週 3 日実施) ・車椅子貸出事業 4 件 ・行事テント貸出事業 14 件 ・各種レク機器貸出事業 7 件 ・学習講演会(北海道社協、山崎主査を講師に「ふれあい講演会」を開催した。参加 60 人 ・由仁町社会福祉金庫(貸付)事業(一時的な生活困窮者に対して貸付を行い、自立を支援する。担当民生委員・児童委員との連携、関係機関との連携) 24件967,000円 ・簡易カラオケ機器購入し、サロンで活用した。 ・環境美化推進事業(駅前花壇) 町内3か所800苗 ・弔慰金、見舞金交付事業 68件340,000円 ・団体助成
健康元気づくり館指定管理運営事業等	<p>・指定管理事業によるげんき館の運営</p> <p>(げんき館指定管理事業を受託することで、隣接する「ほほえみの家」事業の管理や共有施設維持の一体化で省力化を目指しています。)</p>	<p>(指定管理事業)</p> <p>げんき館の利用人数 1,129 件、延べ 20,306 人</p> <p>(町委託事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・げんき塾(由仁)延べ 1,477 人 (4/16～3/25 の間、毎週水曜日 全 48 回) ・三川延べ 239 人、24 回開催 6/27～11/14 ・川端延べ 49 人、4 回開催 11/21～12/12

3 ボランティアセンター事業の充実

～ずっと住みたいと思うまちづくりの活力育成を目指して～

- ・ボランティアセンター事業の充実
- ・ボラ連(由仁町ボランティア活動団体連絡会)活動への支援
- ・町ボランティアポイント事業(ボランティア感謝券)の発行
- ・ボランティア活動者育成支援事業

重点事項	実施内容	具体的な事業
ボランティアセンター事業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・センター機能を充実するため、福祉教育の推進をはじめ、育成支援活動や他団体との調整・交流を図り、協働・共助のまちづくりの推進を図りました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア育成支援事業 ・ボランティアスクールの開催 27人(レクリエーション講習) ・ジュニア福祉スクールの開催 8/6 札幌市内盲導犬センター見学会。30人(ライオンズクラブ協賛) ・11/2 ボランティア愛ランド in 札幌へ派遣した。16人 ・町防災訓練活動の協力 10/11 ボランティアセンター運営委員長ほか参加。三川会館前、社協福祉車両の貸出。 ・ボランティア保険の受付 377人加入 ・ボランティアセンター登録 18団体2個人27年3月末現在 ・ふまねっと教材、1組購入
ボラ連(由仁町ボランティア活動団体連絡会)活動への支援及び活動者育成支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ボラ連活動の育成支援と活動推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動助成金の交付40,000円 ・交流パークゴルフ事業協賛金の協力10,000円 ・加入団体育成事業 ・活動資格支援事業(ふまねっと運動) ・学習講演会活動まちづくりのための学習会「ふれあい講演会」を開催した。参加60人
ボランティア感謝券の発行(町委託事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアセンター登録のボランティア活動をポイント算定し由仁町商工会商品券で発行した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・午前、午後の活動を各50ポイントとして算定し、商品券で発行する。 16団体 213,000円

4 介護(予防)サービス事業の推進

～安心と安全・信頼の介護事業の推進～

- ・訪問介護事業/由仁町社協居宅サービスステーション
- ・通所介護事業/由仁町社協デイサービスセンター
- ・居宅介護支援事業/由仁町社協居宅介護支援事業所
- ・(指定管理事業)老人短期入所事業/介護老人福祉施設ほほえみの家
- ・(指定管理事業)地域密着型介護老人福祉施設/介護老人福祉施設ほほえみの家

重点事項	実施内容	具体的な事業
訪問介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づく訪問介護(予防)事業を適正に実施した。 (福祉有償運送事業は、国交省の承認を受けてヘルパー事業の利用者様を対象に移送事業を実施しました) 	<ul style="list-style-type: none"> ・由仁町社協居宅サービスステーションの運営 延べ3,465人 (要介護者2,272人・要支援者1,193人) ・有償運送事業延べ209人 ・職員/サービス提供責任者、訪問介護員等6人
通所介護事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づく通所介護(予防)事業を適正に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・由仁町社協デイサービスセンターの運営 延べ3,220人 (要介護者延べ2,429人、要支援者延べ791人) ・職員/相談員、介護・看護職員6名(兼務1)
居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づく居宅介護支援事業を法令及び契約に基づき適正に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・由仁町社協居宅介護支援事業所の運営 延べ411人(要介護者) ・職員/介護支援専門員1人
(指定管理事業) 地域密着型介護老人福祉施設(老人短期入所事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度に基づき、介護老人福祉施設「ほほえみの家」を運営した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護老人福祉施設「ほほえみの家」の指定管理運営。 ・特養25床、延べ8,995人 (平均介護度3.3) ・ショートステイ5床 延べ1,201人 ・運営推進会議6回 ・経営委員会1回 ・職員/施設長、生活相談員、介護支援専門員、栄養士、機能訓練指導員、看護・介護職員27人(兼務2)

◎受託及び補助事業について

由仁町からの委託事業の受託

重点事項	実施内容	具体的な事業
社協人件費の補助	・事務局員人件費の補助を受けた。	・事務局員の人件費補助 正職員 2 人、嘱託員 1 人
福祉のつどいの開催 (町委託事業)	・福祉活動の発展を願い、福祉功労者の表彰をはじめ、老人クラブ演芸発表の場として開催した。	9 月 13 日(土) 8:30～受付 9:00～式典開会 10:00～演芸発表
いきいきサロンの充実 (委託)	・高齢社会の中で、外出機会の助長と地域内外での交流活動を通じて、孤独感の解消を図った。	・高齢者生きがい事業の実施。 (バス利用) 4 回、延 96 人。6/30, 7/22, 9/29, 11/4 ・地域でのふれあい活動を推進する「いきいきサロン」で趣味の文化活動や食事・茶話会、カラオケ会開催。 10 回、延 216 人。 5/22, 5/27, 6/3, 7/29, 8/19, 8/26, 11/11, 11/17, 3/19, 3/23
ボランティア感謝券の発行 (委託)	・ボランティア活動をポイント算定して由仁町商工会商品券で発行し、地産地消事業に貢献した。	加入団体 16 団体 213,000 円
訪問介護運営事業補助	・訪問介護事業確保による運営補助	町補助金 1,478,057 円 ・訪問介護自立支援事業 延べ 63 人 148,680 円
移動支援事業 (委託)	・介護資格者により人工透析患者移動の支援を行った。	延べ 1,776 人 毎週月水金曜日 3 便運行
げんき塾 (委託)	・専門トレーナーによる介護予防健康教室の開催した	・(4/16～3/25 毎週水曜日、48 回開催 延べ 1,477 人 健康元気づくり館
サテライトげんき塾 (委託)	・専門トレーナーによる介護予防健康教室の開催した	・三川フィットとして 6/27 から 11/14 の間、毎週金曜日 24 回開催。延べ 239 人 ・川端フィットとして 11/21-12/12 の間、毎週金曜日延べ 49 人

共同募金事業概要(参考)

募金の概要

○10/1からの「赤い羽根共同募金」	H26年度募金額	976,800円
○11/1からの「法人・商店関係募金」	H26年度募金額	247,000円
	街頭	83,338円
	学校・その他	99,101円
	合計	1,406,239円

※赤い羽根共同募金では、当該市町村で募金された額の約7割が全道の各市町村社協へ助成金として地域福祉活動の貴重な財源として活用されています。

由仁町においてこの助成金に加え、全道規模の助成金(ボランティア活動育成費)や備品費の助成を受けて活動しています。

○12/1からの「歳末たすけあい運動」 H26年度募金額 745,832円

歳末たすけあい運動見舞金贈呈式(12/26)では、一人暮らしや母子世帯・重度の障害児世帯に対する見舞金をお届けする民生委員算をはじめ、放課後児童クラブや福祉施設の代表者に対して見舞金を交付しました。歳末助け合いは、由仁町で募金した額をその年の対象となる世帯・団体に見舞金として配布しています。

▼写真は、ムカデが走る由仁町夏まつりと三川地区・地藏祭り会場での募金の様子です。



また、ふれあい広場では、共同募金塗り絵大会をはじめ保育園・幼稚園児の塗り絵展示会を開催して事業の啓蒙に努めました。

歳末たすけあい運動見舞金は、贈呈式を開催して民生委員が見守る中実施しました。

